



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2025/11/23 Rd-10 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：14°C 出走台数：22台

第6大会富士スピードウェイで濃霧により中止となってしまった第10戦だったが、JAFグランプリ鈴鹿において振替開催が行われることになった。

このため、1大会3レースが行われることとなり、第10戦決勝レースは、タイヤ交換義務付けなし、19周のスプリントレースとして開催される。

前戦富士の予選ポジションのまま、牧野選手はポールポジションから、太田選手は3グリッドから、23日(日)午前快晴の下スタートを迎えた。

ポールスタートの牧野選手は抜群の蹴り出しでフラガ選手を抑えるが、ラインをアウトに振ったフラガ選手に先行を許す形で2番手に。太田選手はポジションキープの3番手でオーフニングラップを周回。

フラガ選手と牧野選手の2台は頭抜けたタイムでレースをリード、牧野選手はオーバーテイクシステムを駆使しながらフラガ選手を攻略しようとするがフラガ選手もこれを防戦。最後までハードブッシュしたが攻略できない。

太田選手もフラガ選手と牧野選手を追うが、先行する2台のダーティエアの影響でペースが上げられない。レース後半はペースを上げて迫る岩佐選手の防戦気味に。

結果、牧野選手2位、太田選手3位でレースを終え、チャンピオンシップリーダーの坪井選手に対して9.5ポイント差に迫り、午後の第12戦でチャンピオンの座をかけて戦うこととなる。

5：牧野任祐選手 2位

スタートは悪くなかったのですが、1コーナーへ飛込むラインの判断が結果的に誤った形になりました。レースペースは負けていませんでしたが抜くには至らず2位フィニッシュ。ポールポジションを活かせなかつたことが残念です。

トップとのポイント差を詰めることは出来ました。

チャンピオンシップのチャンスはありますから、悔いのないレースで午後の最終戦を締めくくりたいです。

6：太田格之進選手 3位

スタートでポジションを守ることは出来ましたが、コンディションの変化などもあり、昨日のペースは発揮できず、防戦一方のレースになってしまいました。

この最終大会で、なかなか期待する結果を出せていませんが、午後の最終戦に向けてしっかりと準備をし、気持ちよくレースが出来ればと思います。